

# JDAT(日本災害歯科支援チーム) の活動における連携のあり方

○中久木康一<sup>1)</sup>、小玉剛<sup>2)</sup>、工藤祐光<sup>2)</sup>、  
瀬古口精良<sup>2)</sup>、柳川忠廣<sup>2)</sup>、佐藤保<sup>2)</sup>

1) 東京医科歯科大学 救急災害医学分野

2) 日本歯科医師会

# JDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム)

## 【目的・趣旨】

JDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム) は、災害発生後おおむね72時間以降に**地域歯科保健医療専門職により行われる**、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした**公衆衛生活動を支援することを通じて**被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的としている。大規模災害時には、公益社団法人日本歯科医師会（以下、「日本歯科医師会」という。）が基幹事務局となり組織する災害歯科保健医療連絡協議会（以下、「連絡協議会」という。）として、**被災地域の都道府県の派遣要請を踏まえた厚生労働省からの要請に基づき**JDATを派遣し、被災地域に人的支援や物資の支援等を行う。

# 災害歯科保健医療連絡協議会

※平成27年4月設置

## <目的>

大規模震災後の避難所・仮設住宅、被災者等への歯科保健医療の提供は、(急性期から慢性期)に至るまで、様々な歯科関係職種の**継続的な支援**が必要である。

そのため、日本歯科医師会主導の下、**歯科関係団体同士の連携**や災害対応に関する**認識の共通化**を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の**情報集約**や**共有**を促し、有事に際して**国や都道府県との連携調整**を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を**迅速に効率よく**行うべく、協議していく。

## <参画団体>

- ①日本歯科医師会
- ②日本歯科医学会
- ③日本私立歯科大学協会
- ④国立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議
- ⑤全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議
- ⑥日本病院歯科口腔外科協議会
- ⑦日本歯科衛生士会
- ⑧日本歯科技工士会
- ⑨全国行政歯科技術職連絡会
- ⑩日本歯科商工協会

※オブザーバー:内閣府、厚生労働省、日本医師会(JMAT関係者)、防衛省ほか

# JDAT 平常時・災害時

## 平常時

- 研修と、体制整備
- 地域の災害対策や防災訓練に積極的に参画

## 被災時

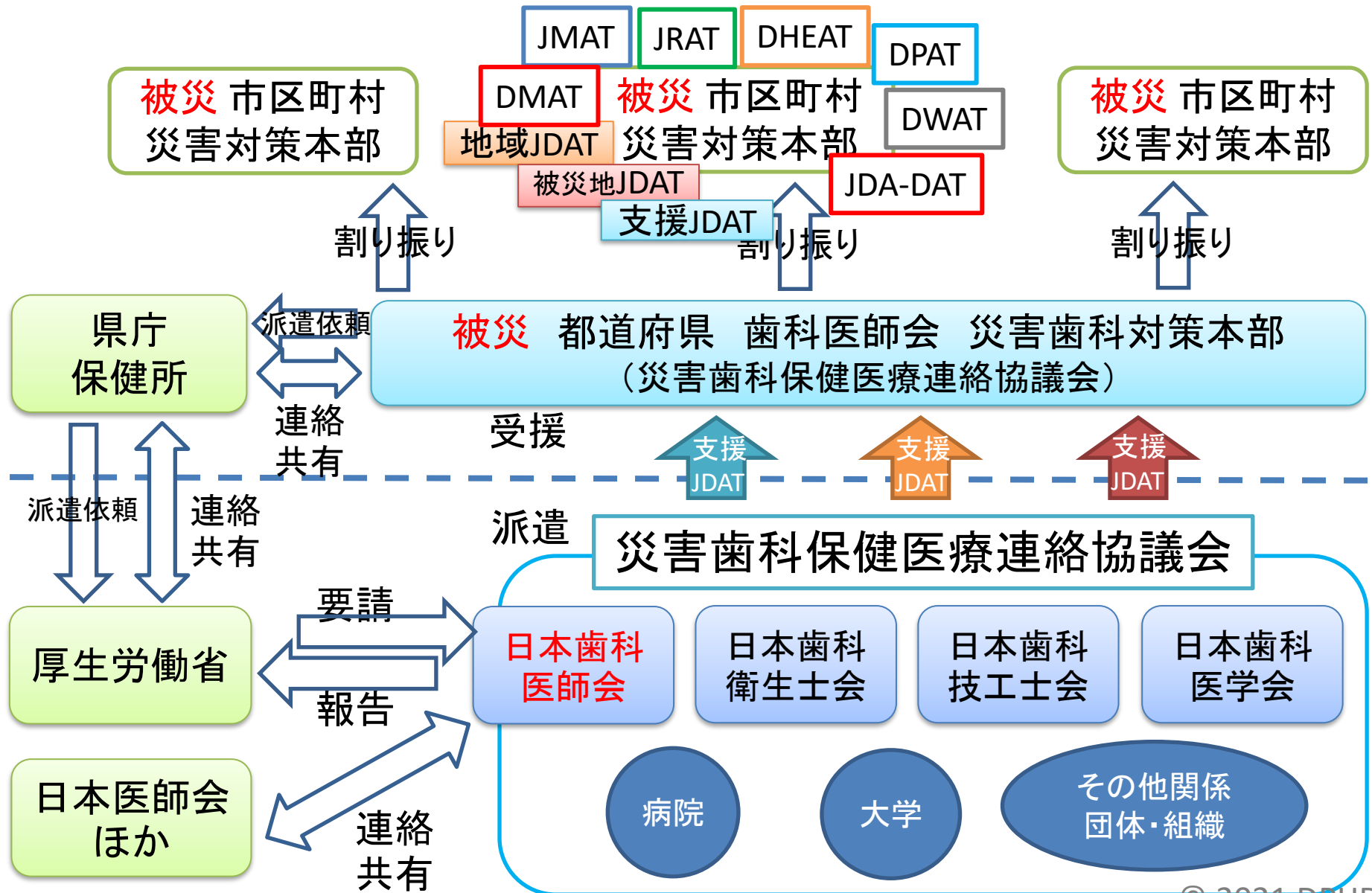
- 地域の情報を繋ぐ
- 必要時は支援チームの派遣要請を提言
- 現地支援活動コーディネーターとして受援

## 災害時

- 緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援
- JMATなどの医療チームの歯科との連携

JDATには、**災害時**のみならず、**平常時**からの地域災害対策に携わり、**災害時**には、地域歯科保健体制のBCP(事業継続計画)をマネジメントする役割が求められている

# 被災自治体に対する人的歯科支援(JDAT)





## JMAT

Japan Medical  
Association Team

## JRAT

Japan Disaster Rehabilitation  
Assistance Team

## DWAT

Disaster Welfare  
Assistance Team

名称	日本医師会 災害医療チーム	大規模災害リハビリテーション支援 関連団体協議会	災害派遣 福祉チーム
目的	被災者の生命及び健康を守り、被災地の公衆衛生を回復し、地域医療や地域包括ケアシステムの再生・復興を支援する	災害弱者、新たな障害者、あるいは被災高齢者などの生活不活発病への予防に対する適切な対応を可能とすることで国民が災害を乗り越え、自立生活を再建、復興を目指していけるように、安心、安全且つ、良質なリハビリテーション支援を受けられる制度や体制の確立を促進する	災害時において、災害時要配慮者の福祉ニーズに的確に対応し、避難生活中における生活機能の低下等の防止を図る
主な職種	医師、看護師、薬剤師、ほか	医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、ほか	社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員（ケアマネジャー）、精神保健福祉士、相談支援専門員、ほか
現地事務局	県医師会	県医師会	都道府県／県社会福祉協議会
厚労省	医政局 地域医療計画課	医政局 地域医療計画課	社会・援護局

# JMAT／JRAT歯科 必要性

## 利点

- ホテルや現地までの移動手段、レンタカー、保険などの手配は、医師会事務局で対応してもらえる(歯科医師会事務局の負担軽減)。
- 避難者に対して、医師・看護師・歯科医師(・薬剤師)など医科歯科(多職種)連携、総合的なケアがスムーズに可能。

## 欠点

- 派遣される場所と支援内容、期間は医師会のJMATにゆだねられる(歯科医師には決定権がない、最悪、歯科以外のことを担当することもありえる)
- JMATが継続していても歯科が継続するとは限らない
- 摂食嚥下や小児歯科など、専門性の高い歯科医療は提供困難

- JMAT／JRAT歯科はあくまでも医師会の傘下であり、地元歯科診療所(＝地元歯科医師会)との様々な調整も、全て医師会を通して行う必要がある
- 地元歯科医師会として助かる歯科支援は、自分達で意思決定できる支援(自分たちのために支援してくれる)であり、JDATが必要となる
- 地元医療機関が復旧したためにJMATが撤退するとなったら、いまだ歯科医療機関はダメージが大きいとしてもJMAT自体が派遣されなくなるためJMAT歯科も派遣されなくなり、JDATが必要となる



# JMAT／JRAT歯科 × JDAT 連携

## JMAT／JRATの歯科

- JMAT/JRAT歯科≒勤務医＝院内(＝院長＝医師)で連携がとりやすいが、自らは全体の意思決定ができない
- もし急性期のJMAT/JRATから歯科が帯同できれば、切れ目のない外部歯科支援を提供できる

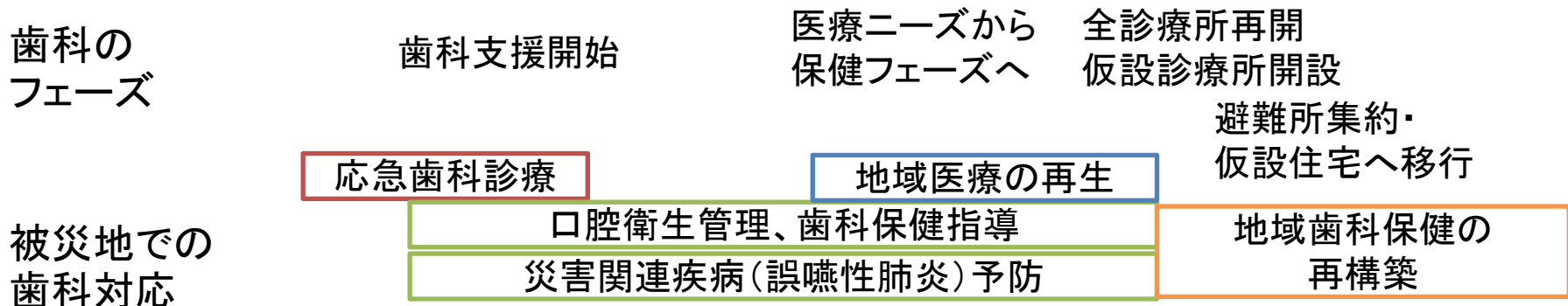
## JDAT

- JDAT≒開業歯科診療所＝組織同士での連携ができ、自ら迅速に意志決定ができる
- JMAT/JRAT歯科の情報を引き継いだり、JMAT/JRAT歯科に医療連携を繋いでもらったりしつつ、平常時同様の地域歯科保健医療を届けられる

- 平常時で言えば病院歯科との「病診連携」はJMAT歯科との連携と、在宅医療／摂食嚥下リハに詳しい歯科との「診診連携」がJRAT歯科との連携、に近い
- 平常時の地域包括支援センターとの連携は、DWATとの連携で得られる

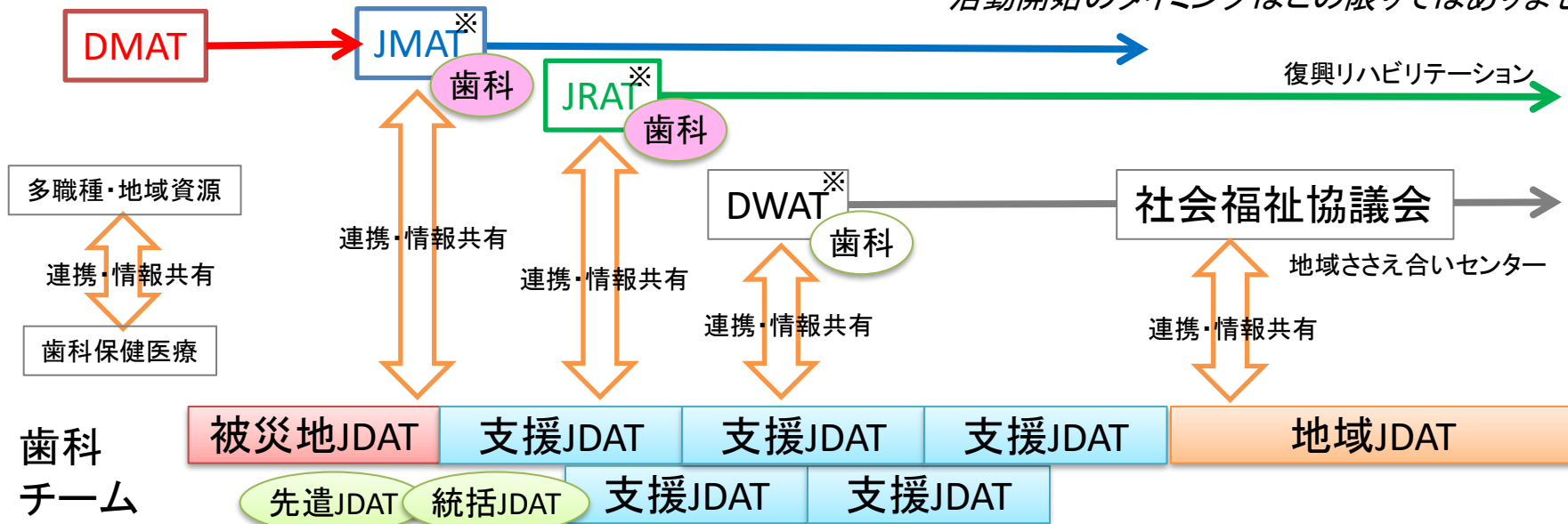
「歯科医師として、歯科医師会として、災害時にも地域住民の健康を守るために、どうすればいい？」と考えた時には、  
医科と連携しやすいJMAT歯科と、歯科としてのJDATは両輪の関係

# 多職種チームと 歯科チームとの 連携



## 多職種チームにおける歯科

※ 注: 支援チーム連携の概念として記載しています  
活動開始のタイミングはこの限りではありません



# 災害歯科保健医療

標準テキスト

編集 ○ 日本歯科医師会・災害歯科保健医療連絡協議会  
発行 ○ 一世出版株式会社



**2021年12月24日発売！**

**一世出版**

本体2,900円(税込み 3,190円)

## Contents

### はじめに

### 第1章 災害歯科保健医療

1. 災害歯科保健医療概論	12
2. 災害歯科支援チームの実現に向けて ～関係機関・団体における連携の重要性～	20
3. 保健医療支援におけるロジスティクス担当者の役割	28
4. 災害時における歯科医師会の対応	34
5. 災害時の歯科保健医療活動 ～目的、評価、体制～	40

### 第2章 国における災害対応

1. 大規模災害時における政府の初動対応について	50
2. 災害時における保健医療の対応	54
3. 厚生労働省における災害医療体制	62
4. 防衛省・自衛隊における災害派遣活動	70

### 第3章 活動における連携・共有

1. 災害時の歯科保健医療活動 ～歯科支援における役割分担、多職種での連携～	76
2. 日本医師会の災害対応	82
3. サイコロジカル・ファーストエイド ～心理的応急処置：PFA～	96
4. 歯科医師のための災害復興法学的なすすめ	104

### 第4章 災害時における身元確認

1. 歯科における身元確認体制	114
2. 警察における大規模災害時等の多数遺体取扱について ～歯科所見による身元特定の有効性～	126
3. 海上保安庁における歯牙鑑定	128

### 参考資料

・JDAT 目的・趣旨	133
・施設・避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票 (集団・迅速)	134
・歯科保健医療支援アクションカード	136
・Q&A集	142
・用語集	145

ご質問・問合せ  
nakakuki@biglobe.jp